

問1 北海道の各地域の自然環境について述べた文のうち、網走や紋別などを含むオホーツク海沿岸の特色として最も適切なものはどれですか。（2024年 福島県公立入試 類似）

- 冬になるとシベリア沿岸から凍結した海水が運ばれ、海岸を埋め尽くすことがある。
- 夏に千島海流（親潮）の上を吹き渡る湿った冷たい風の影響で、濃霧が発生しやすい。
- 十勝平野を中心に火山灰の土壌が広がっており、大規模な畑作や酪農が行われている。
- 対馬海流の影響を強く受け、冬には北西の季節風によって日本海側に大量の雪をもたらす。

問2 夏の北海道の太平洋沿岸において、寒流の影響で湿った空気が冷やされることにより発生し、日照時間の減少や気温が上がりにくくなる原因となっている気象現象を何といいますか。（2025年 群馬公立入試 類似）

- 濃霧
- やませ
- 季節風
- 線状降水帯

問3 北海道の石狩平野で見られる「泥炭地」の土地改良について、その目的と仕組みを説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2022年 三重公立入試 類似）

- 水分が多く植物の遺骸が堆積した土地に、別の場所から土を運び入れることで、排水性を高め稲作に適した農地にするため。
- 火山灰が降り積もった水持ちの悪い土地に、粘土質の土を混ぜ合わせることで、水田に必要な水を蓄えられるようにするため。
- 砂丘が広がる乾燥した土地に、スプリンクラーなどの灌漑設備を整え、らっきょうやスイカなどの栽培を可能にするため。
- 山がちな地形で平地が少ないため、斜面を階段状に切り開いて石垣で固定し、日当たりの良さを活かしてみかんを栽培するため。

問4 日本の地理に関連して、北海道の知床や鹿児島県の屋久島は、その貴重な自然環境が評価され、「世界遺産リスト」に登録されています。このように、世界の文化遺産や自然遺産の保護を推進している国際機関はどれですか。（2016年 大分県公立入試 類似）

- ユネスコ
- 国連児童基金
- 世界貿易機関
- 東南アジア諸国連合

問5 札幌において、冬（12月～2月）の降水量が東京などの太平洋側の都市に比べて多くなる理由を、地理的な背景から説明したものととして正しいものはどれですか。（2021年 茨城県公立入試 類似）

- 冬に湿った北西の季節風が吹き込み、雪を降らせるため。
- 冬に湿った南東の季節風が吹き込み、雪を降らせるため。
- 暖流である対馬海流から蒸発した水蒸気が、北東の季節風によって運ばれるため。
- シベリア高気圧から吹き出す乾燥した風が、太平洋上で水分を蓄えて戻ってくるため。

問6 北海道の内陸部に位置する地域の気候の特徴について、ある地点の統計を確認したところ、1月の平均気温がマイナス20度近くまで下がり、年間のすべての月において降水量が100mm未満という非常に少ない数値を示していました。この地域の気候について正しく述べたものはどれですか。（2019年 富山県公立入試 類似）

- 冬の寒さが極めて厳しく、夏は冷涼で、年間を通して降水量が少ない。
- 対馬海流の影響を強く受けるため、冬に雪が多く、年間降水量が2000mmを超える。
- 夏に「やませ」と呼ばれる冷たい北東風の影響を強く受け、夏でも霧が発生しやすい。
- 季節風の影響で冬の降水量は多いが、夏は太平洋高気圧の影響で乾燥する。

問7 北海道の知床半島を含む東部地域では、夏季に「濃霧」が発生し、視界が悪くなったり気温が上がりにくくなったりすることがあります。この霧が発生する仕組みについて、海面を流れる潮の流れ（海流）と季節風の関係を説明したものととして最も適切なものはどれですか。（2026年 島根公立入試 類似）

- 太平洋から吹き込む湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）によって冷やされることで発生する。
- 日本海から吹き込む湿った季節風が、暖流である対馬海流によって冷やされることで発生する。
- 太平洋から吹き込む乾いた季節風が、暖流である黒潮（日本海流）によって温められることで発生する。
- オホーツク海から吹き込む冷たい風が、陸地の熱によって上昇気流となり、雲を作ることによって発生する。

問8 ニセコ町や倶知安町が進める「ニセコモデル」において、外国人宿泊客の急増に伴う課題を解決するために、特に重視されている取り組みの内容として正しいものはどれですか。（2025年 群馬公立入試 類似）

- 公共交通機関と宿泊施設を結ぶ二次交通の利便性向上と、官民連携による環境整備
- 国内の修学旅行生を優先的に受け入れるための、外国人客向けの宿泊料金の引き上げ
- 冬季の観光客を分散させるため、冬のスキー場を閉鎖して通年型の農業体験へ転換すること
- 地元の農産物を輸出するために、観光客の移動手段を制限して物流網を優先すること

答え合わせ・解説

問1	答え 1 冬になるとシベリア沿岸から凍結した海水が運ばれ、海岸を埋め尽くすことがある。	オホーツク海沿岸の最大の特徴は、冬に見られる流氷です。これはアムール川からの淡水流入などで塩分濃度が低くなった海域で氷が形成され、それが南下してくることで起こります。他の選択肢については、夏の濃霧は太平洋側、火山灰土壌（シラスや黒土）による大規模農業は十勝平野など、日本海側の豪雪は季節風と対馬海流の影響によるものであり、地域ごとの気候区分を正しく理解しておくことが重要です。
問2	答え 1 濃霧	北から流れてくる寒流である千島海流（親潮）の上を、夏に南東から吹く暖かく湿った空気を通る際、海面付近で急激に冷やされることで水蒸気が水滴となり、霧が発生します。釧路市などの太平洋沿岸部では、この霧が太陽の光を遮るため、夏でも気温が上がりにくく、日照時間が短くなるという気候特性が見られます。
問3	答え 1 水分が多く植物の遺骸が堆積した土地に、別の場所から土を運び入れることで、排水性を高め稲作に適した農地にするため。	泥炭地は寒冷な気候の影響で植物が腐りきらずに堆積した土地で、スポンジのように水分を大量に含んでいます。このため、農業を行うには「客土」によって土壌を入れ替え、さらに排水路を整備して余分な水分を取り除く必要がありました。他の選択肢にある「火山灰地」は関東地方や九州地方、「砂丘」は鳥取県などの山陰地方、「段々畑でのみかん栽培」は愛媛県や和歌山県などの気候と地形を活かした取り組みです。
問4	答え 1 ユネスコ	知床の流氷が育む豊かな生態系や、屋久島の樹齢数千年を超える屋久杉などは、人類全体で守るべき価値があるとして世界遺産（自然遺産）に登録されました。こうした遺産の選定や保護を主導しているのがユネスコです。よく似た名称のユニセフ（国連児童基金）は、子供の権利保護や支援を目的とした組織であり、混同しないよう注意が必要です。
問5	答え 1 冬に湿った北西の季節風が吹き込み、雪を降らせるため。	日本の冬はシベリア高気圧から北西の季節風が吹きます。この風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、北海道の日本海側に位置する札幌などに雪をもたらします。そのため、冬の時期に晴天が多く降水量が少ない太平洋側の都市と比較して、札幌では冬の降水量（降雪量）が多くなるという因果関係が生じます。
問6	答え 1 冬の寒さが極めて厳しく、夏は冷涼で、年間を通して降水量が少ない。	北海道の内陸部は、海から遠く離れているために海による気温調節機能が働かず、放射冷却現象などの影響で冬の気温が極端に低くなります。また、周囲を山々に囲まれていることから、海からの湿った空気が入り込みにくく、日本海側などの沿岸部と比較しても年間降水量が少なくなるのが特徴です。
問7	答え 1 太平洋から吹き込む湿った季節風が、寒流である親潮（千島海流）によって冷やされることで発生する。	夏季の北海道東部では、南東の太平洋側から湿った季節風が吹き込みます。この風が、千島列島から南下してくる非常に水温の低い寒流である「親潮」の上を通る際、空気の温度が急激に下げられます。これによって空気中に含まれていた水蒸気が凝結して細かい水滴となり、濃い霧が発生します。この仕組みは、暖かい空気が冷たい海面に触れることで生じるため「移流霧」と呼ばれ、現地の農業や交通に影響を与えます。
問8	答え 1 公共交通機関と宿泊施設を結ぶ二次交通の利便性向上と、官民連携による環境整備	特定の季節に外国人客が集中すると、移動手段の不足や言語の壁といった課題が生じます。これに対し、タクシーやバスなどの「二次交通」を柔軟に運用し、民間企業と自治体が役割を分担して観光客の受け入れ体制を整えることが、二セコモデルの本質的な取り組みです。